

ワクチン名	委員からの主な意見・審議内容等
<p>おたふくかぜ ワクチン</p>	<p>仮に広く接種をするに当たっては、より高い安全性が期待出来るワクチンの承認が前提であり、新たなMMRワクチンの開発が望まれる。 (平成25年7月 第3回予防接種基本方針部会)</p>
<p>不活化ポリオ ワクチン</p>	<p>不活化ポリオワクチンの5回目接種の必要性が議論され、改めて、抗体保有率の経年変化について調査を継続し、その結果に基づき5回目接種の必要性を検討する、とされた。 (平成25年7月 第3回研究開発及び生産流通部会)</p>
<p>沈降13価肺炎球菌 結合型ワクチン</p>	<p>沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV13)を高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種として使用することの是非について議論され、PCV13の評価に必要となる科学的知見をできるだけ早期に研究班等で収集した上で、実施する可能性のある施策について、費用対効果等の分析・評価を実施することとされた。 (平成27年12月 第2回ワクチン評価に関する小委員会)</p>
<p>ロタウイルス ワクチン</p>	<p>以下の3つの課題について、これまでに収集された科学的知見が報告され、広く接種を勧めていくための検討を進めていくためにはいくつかの課題が依然残っていることから、引き続き、研究班のデータや他の知見を収集した上で、一定の整理ができた段階で審議会に報告することとされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腸重積のベースラインデータの整理 ・リスクベネフィット分析 ・費用対効果の推計 <p>(平成28年12月 第5回ワクチン評価に関する小委員会)</p>
<p>帯状疱疹 ワクチン</p>	<p>帯状疱疹の疾病負荷や帯状疱疹ワクチンの効果について議論が行われ、論点を整理した上で、課題とされたデータが出てきた段階で、再度検討することとされた。 (平成29年11月 第7回ワクチン評価に関する小委員会)</p>
<p>沈降精製百日せき ジフテリア破傷風 混合ワクチン</p>	<p>DTに代わりDTaPを用いることで見込まれるベネフィット・リスクについて議論が行われ、再度論点を整理した上で、議論可能となった段階で引き続き検討することとなった。 (平成29年11月 第7回ワクチン評価に関する小委員会)</p>